

## 福岡調理師専門学校

### 【学校の概要】

- (1) 学校名 福岡調理師専門学校
- (2) 所在地 〒810-0001  
福岡県福岡市中央区天神3丁目6-35  
TEL 092-761-6155  
FAX 092-761-6156
- (3) 学校長名 伊東 隆昭
- (4) ホームページ <http://www.fukuoka-chourishi.ac.jp>
- (5) メールアドレス [info@itobunka.ac.jp](mailto:info@itobunka.ac.jp)

## 福岡介護福祉専門学校

### 【学校の概要】

- (1) 学校名 福岡介護福祉専門学校
- (2) 所在地 〒819-0015  
福岡県福岡市西区愛宕4丁目2-28  
TEL 092-882-7004  
FAX 092-882-7044
- (3) 学校長名 伊東 隆昭
- (4) ホームページ <http://www.fukuoka-kaigofukushi.ac.jp>
- (5) メールアドレス [f-kaigo@itobunka.ac.jp](mailto:f-kaigo@itobunka.ac.jp)

## 伊東文化学園の沿革

昭和 28 年 8 月	福岡市小烏馬場に「福岡家政学園」を設立
昭和 30 年 12 月	福岡市中央区天神 3 丁目に校舎新築、移転
昭和 32 年 12 月	学校法人の認可を受け「学校法人 福岡家政学園」となる
昭和 42 年 4 月	厚生大臣指定校の認可を受け、昼間部調理師養成科を設置
昭和 44 年 4 月	厚生大臣指定校の認可を受け、夜間部調理師養成科を設置
昭和 52 年 4 月	「文部省専修学校制度」により、「福岡調理師専修学校」となる。
昭和 56 年 4 月	「福岡調理師専修学校」を「福岡調理師専門学校」に校名変更
平成 2 年 2 月	厚生大臣より介護福祉養成施設として指定認可を受ける
平成 2 年 4 月	福岡市西区愛宕に厚生大臣指定「福岡介護福祉専門学校」介護福祉科開校
平成 4 年 5 月	福岡県介護福祉士会事務局が福岡介護福祉専門学校に設置
平成 4 年 8 月	NHK 学園より「介護福祉コース ホームヘルパー 2 級課程 実技スクーリング」が福岡介護福祉専門学校に委託され開講
平成 7 年 4 月	福岡介護福祉専門学校 介護福祉科修了者に文部大臣認定「専門士」の称号が付与される
平成 9 年 4 月	厚生大臣認定により、福岡調理師専門学校に調理師 2 年課程を新設 2 年課程修了者に卒業時に文部大臣認定「専門士」の称号が付与される
平成 12 年 9 月	学校法人名「福岡家政学園」を改め、「伊東文化学園」とする
平成 17 年 5 月	国家試験実技免除となる介護技術講習会を福岡介護福祉専門学校にて開講
平成 18 年 10 月	福祉住環境コーディネーター対策講座を福岡介護福祉専門学校にて開講
平成 19 年 4 月	「福岡調理師専門学校」新校舎完成
平成 19 年 4 月	厚生労働大臣認定により調理師 2 年課程定員増
平成 22 年 2 月	福岡調理師専門学校 調理技術コンクール全国大会の中国料理部門で大臣賞を受賞
平成 23 年 2 月	福岡調理師専門学校 調理技術コンクール全国大会で大会最高賞の内閣総理大臣賞と西洋料理部門で長官賞受賞
平成 24 年 2 月	福岡調理師専門学校 調理技術コンクール全国大会の日本料理部門で大臣賞受賞
平成 25 年 2 月	福岡調理師専門学校 調理技術コンクール全国大会の日本料理部門で大臣賞受賞
平成 25 年 4 月	福岡調理師専門学校 募集定員を 2 年課程を 120 名、1 年課程を 80 名に変更
平成 26 年 4 月	福岡調理師専門学校 1 年課程を「一般課程」より「高等課程」に変更

# 福岡介護福祉専門学校

## 建学の精神

豊かな教養と、愛に満ちた人間性を基盤とし、専門的知識と技術の向上に努力し続け、社会に貢献できる心身共に健康な介護の専門家を育成する。

## 教育方針

1. 人の自立と幸福に寄与できる喜びを基に、誠実に良識と信念を持って行動できる能力を養う。
  - (1) 人間に対して、思いやりを持ち、配慮することができる。
  - (2) 人間を尊重し、支持的態度が取れる。
  - (3) 自己の介護観の構築ができる。
2. 介護概念を理解把握し、専門的知識・技術の習得と判断力、応用力、創造性を養う。
  - (1) 自己の介護行為に責任がもてる。
  - (2) 問題意識をもち、追求していくことができる。
  - (3) 科学的裏づけをもつことができる。
  - (4) 介護利用者の個々に応じた援助ができる。
3. 介護福祉士として、福祉の発展のため、すべての人々と連携をとり、協力する能力を養う。
  - (1) 介護福祉士の役割と責任がわかる。
  - (2) 福祉に対する社会のニーズをとらえることができる。
  - (3) 相互に高められる人間関係がもてる。
4. 介護の専門家として、絶えず、意欲的に自己啓発する能力を養う。
  - (1) 広い視野を持つことができる。
  - (2) 社会的動向に関心がもてる。
  - (3) 自己自身を洞察し、自己の成長のために努力をすることができる。